

## 選手・監督注意事項

- 1 本大会は2021年度日本陸上競技連盟規則により行う。
- 2 練習について
 

本競技場での練習（本競技場での投てき練習は、用具を持たずにターンや助走の練習を原則とするが、競技役員の指示による）は、両日とも最初の競技開始の30分前までとする。それ以降は補助競技場を利用すること。ただし、跳躍及び投てき種目の練習（用具を持たずにターンや助走の練習は可）の補助競技場の使用は禁止とする。

跳躍及び投てき種目の本競技場での練習については、プログラム記載の競技開始時刻40分前から10分前まで（30分間）とする。
- 3 招集について
  - (1) 招集は各スタート地点・競技場所において、プログラム記載の競技開始時刻10分前より行う。
  - (2) 招集に遅れた選手は、その競技種目に出場できない。ただし、他の種目に出場していて招集時刻に間に合わない場合は、1種目目の招集完了時刻までにプログラム添付の「2種目同時出場届」を正面入口付近の競技者係の競技役員に提出すること。
  - (3) 欠場をする場合は、招集完了時刻までに「欠場届」に必要事項を記入し、正面入口付近の競技者係の競技役員に提出すること。ただし、事前にわかっている場合は、「欠場届(団体用)」に記入の上、該当種目実施日最初の競技開始時刻の30分前までに上記と同場所に提出すること。
- 4 アスリートビブスについて
  - (1) アスリートビブスは選手登録時に配布されているものを、そのままの形でユニホームの胸部と背部に着けること。ただし、跳躍種目に出場する選手は、胸部または背部のいずれか一方でよい。
  - (2) トラック競技に出場する選手は選手登録時に配布されている腰アスリートビブスを右腰につけること。ただし、1500m以上の種目については招集時に配布される通し番号の標識を右腰につけること。
- 5 トラック競技での不正スタートは1回で失格とする。
- 6 リレー競技について
  - (1) リレーチームの編成は、各ラウンドとも「リレー・オーダー用紙」に記入し、招集完了時刻の1時間前までに正面入口付近の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
  - (2) リレーに出場するチームは、同一のユニホームを着用すること。
  - (3) リレーチームの編成メンバーについては、日本陸連競技規則第170条10に則る。
- 7 競技用具は、棒高跳用ポール以外、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 8 スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- 9 シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則TR5に準ずる）
  - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
  - b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
  - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。
  - d 高校の部は、トラック種目においては、招集時に競技役員からシューズの確認を受ける。フィールド種目においては確認は不要とする。市町の部については、トラック種目・フィールド種目ともに確認は不要とする。
- 10 跳躍競技のバーの上げ方を次の通りとする。（コンディションにより変更することがある。）

		練習	1回	2回	3回	4回	5回	6回
走高跳	一般・高校男子	1.60 1.80	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90・・・
	一般・高校女子	1.30 1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58・・・
棒高跳	高校男子	3.00 3.20	3.40	3.60	3.80	4.00	4.20	4.30・・・

- 11 フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。
  - (1) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。
  - (2) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- 12 フィールド競技において参加人数多数の場合、審判長の判断によりパスラインを設けることがある。また、三段跳男子は12m板、女子は10m板を基本とするが、出場選手の最高記録やコンディション等により変更する場合がある。ただし、競技運営が可能なら2ピットを使用し、異なる距離の踏切板で実施することもある。
- 13 各自が使用したペグなどの用器具類は必ず指定の場所に後始末すること。
- 14 市町対抗の部の2レース以上あるトラック種目はタイムレース決勝とし、棄権者が多く出場者が8名以内となった場合は番組編成でレーン抽選を行い1レースにする。
- 15 市町対抗の部のフィールド競技の試技数は3回とする。
- 16 表彰について
  - (1) 市町対抗(男女)と学校対抗は、各種目1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、総合得点により男女別に3位までの団体を表彰する。
  - (2) 各種目3位までの入賞者は、表彰式は行わず、成績発表後にロビーの机上に賞状を並べるので各自持ち帰ること。
- 17 テント設営について
  - (1) メイン競技場の芝スタンドおよび公園内の通行の妨げにならない場所に設営すること。
  - (2) 通行の妨げになるため、芝スタンドの手すりにテント設営のためのひもをかけないこと。
  - (3) 100mスタート後方ならびにフィニッシュ前方の芝スタンドについては、テント設営禁止区域とする。
  - (4) メイン競技場の正面スタンドへのテント設営は禁止とする。
- 18 応急処置について  
大会時の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。
- 19 盗撮、不審者対応について
  - (1) 本大会は無観客で実施するため、撮影許可証は発行しない。
  - (2) 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めることがある。事案によっては退場を求める。
  - (3) 報道等で撮影を行う場合は、必ず事前に受付をして、主催者が用意したビブスを着用すること。
  - (4) 観戦をしている中で、競技運営に重大な支障をきたすような発言やヘイトスピーチと取られる発言や看板等の掲示等があった場合、また他の観戦者に多大な迷惑を掛けていると判断した場合は退場を求める。
- 20 その他
  - (1) メインスタンド下通路(大会運営室側)は、競技者の通行を禁止する。競技終了後は第1ゲートから出てスタンドの外側を通ること。
  - (2) 当該種目出場の競技者以外は競技場内に立ち入ることができない。
  - (3) 本競技場のメインスタンド下の二階室内走路については、当日の開門まで場所取りを禁止する。
  - (4) 競技場内の更衣室の占有は禁止する。(マットやシートを使用した場所取りをしない)